0104

Ⅱ　自家漁業に雇った人

1　海上作業に雇った人数

(1)　11月1日現在の海上作業に雇った人の有無を記入してください。雇った人がいる場合は、項目ごとにその人数を記入してください。

ここでは2ページの世帯員ではなく「雇った人数」を記入してください。

海上作業に雇った人がいない	201	0
海上作業に雇った人がいる		0

日本人	うち、過去1年以内に漁業を始めた人	外国人
①	②	③
千 百 十（人）	千 百 十（人）	千 百 十（人）
211		

雇った日本人のうち、30日以上海上作業を行った人を年齢別に記入

(2)　(1)の日本人のうち、過去1年間に30日以上海上作業を行った人数を年齢別に記入してください。

（人）

		男	女
計	221		
15～19歳	222		
20～24歳	223		
25～29歳	224		
30～34歳	225		
35～39歳	226		
40～44歳	227		
45～49歳	228		
50～54歳	229		
55～59歳	230		
60～64歳	231		
65～69歳	232		
70～74歳	233		
75歳以上	234		

過去1年以内に漁業を始めた人とは、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した人で、以下のいずれかに該当する人です。
・新たに漁業を始めた人（過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた人を含む。）
・他の仕事が主であったが、漁業が主となった人（他の産業に従事等）

2　陸上作業に雇った人数

過去1年間の漁業の陸上作業について、最もさかんな時期に雇った人数を記入してください。

千 百 十（人）

計	241	
男	242	
女	243	

0103

2　世帯としての収入

世帯としての収入は、自家漁業と自家漁業以外の仕事でどちらが多かったですか。
当てはまるものに記入してください。

自家漁業の収入のみ		711	0
自家漁業以外の収入があった	自家漁業の収入が多かった		0
	自家漁業以外の収入が多かった（不動産による収入を含み、年金は含みません。）		0

自家漁業には、共同経営や雇われは含みません。

3　自家漁業の後継者の有無

当てはまるものに記入してください。

	いる	いない
721	0	0

後継者とは、過去1年間に漁業を行った人のうち、将来自家漁業の経営主になる予定の人をいいます。
調査日現在（11月1日）、自家漁業を行っていなくてもかまいません。

過去1年間にした仕事																			
自家漁業の海上作業日数が多かった漁業種類			10月下旬に自家漁業の海上作業を行った	自家漁業の陸上作業	過去1年以内に漁業を始めた人	うち、今年の3月に学校を卒業した人	自家漁業以外の自営業	共同経営の漁業の仕事	雇われて漁業の仕事	雇われて漁業以外の仕事	日数が最も多かった仕事	日数が多かった方 自家漁業	日数が多かった方 他の仕事	経営主とともに経営方針の決定に関わっている
1位	2位	3位												
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱		⑲
全国漁業種類番号を記入			該当するすべてにマーク								下の当てはまる番号を記入	いずれかにマーク		該当にマーク
1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0

6ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

⑰日数が最も多かった仕事
1：自家漁業　2：自家漁業以外の自営業　3：共同経営の漁業の仕事　4：雇われて漁業の仕事　5：雇われて漁業以外の仕事

過去1年間で次のいずれかの決定に参画した人（経営主を除く。）に記入してください。
・漁業種類の選定・操業計画
・養殖種類の選定・規模
・出荷先
・資金調達
・漁船装備・養殖施設などの投資
・雇用の決定・管理

入力方向

Ⅱ　自家漁業に雇った人

2ページの世帯員を除いた「雇った人数」を記入してください。

1　海上作業に雇った人数

（1）11月1日現在の海上作業に雇った人数を記入してください。

（人）

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
計（②＋⑦）	日本人（③＋④＋⑤）	居住地 同一市町村	居住地 その他の県内	居住地 県外	うち、過去1年以内に漁業を始めた人	外国人
201						

過去1年以内に漁業を始めた人とは、調査期日前1年間に、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した者で、以下のいずれかに該当する者です。
・新たに漁業を始めた者（過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた者を含む。）
・他の仕事が主であったが、漁業が主となった者（他の産業に従事等）
・普段の状態が仕事を主としていなかったが、漁業が主になった者（学生等）

（2）②の日本人のうち、過去1年間に30日以上海上作業を行った人数を記入してください。

（人）

		海上作業を行った人数 男	海上作業を行った人数 女	うち、居住地が同一市町村 男	うち、居住地が同一市町村 女
211	計				
212	15～19歳				
213	20～24歳				
214	25～29歳				
215	30～34歳				
216	35～39歳				
217	40～44歳				
218	45～49歳				
219	50～54歳				
220	55～59歳				
221	60～64歳				
222	65～69歳				
223	70～74歳				
224	75歳以上				

2　陸上作業に雇った人数

過去1年間の漁業の陸上作業について、最もさかんな時期に雇った人数を記入してください。

（人）

231	計	
232	男	
233	女	

入力方向

（2）過去1年間の漁業以外の仕事について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

自営業					勤め
水産加工業	民宿	遊漁船業	その他		
712	①	①	①	①	①

共同経営や雇われて漁業を行っている方については、勤めに○印を付けてください。

（3）過去1年間の延べ利用者数を記入してください。

（人）

		万	千	百	十
713	民宿				
714	遊漁船業				

3　自家漁業の後継者の有無

当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	有	無
721	①	②

後継者とは、過去1年間に漁業を行った人のうち、将来自家漁業の経営主になる予定の人をいいます。
調査日現在（11月1日）、自家漁業を行っていなくてもかまいません。

6ページの全国漁業種類番号で当てはまる番号を記入して下さい。

④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
自家漁業の海上作業日数	過去1年間に漁業の海上作業日数が最も多かった漁業種類 全種類	国籍	番号	⑤で船の使用の漁業種類	漁船非使用	10トン未満	10トン以上	10月下旬に行った自家漁業の海上作業	自家漁業の陸上作業	過去1年以内に漁業を始めた人	うち、今年の3月に学校を卒業した人	自家漁業以外の自営業	共同経営の漁業の仕事	雇われて漁業の仕事	雇われて漁業以外の仕事	日数が最も多い仕事	日数の多い方 自家漁業	日数の多い方 他の仕事
（日）	いずれかに○印			当てはまる人に○印												下の当てはまる番号を記入	いずれかに○印	
	1																	
	1																	
	1																	
	1																	
	1																	
	1																	
	1																	
	1																	

海上作業日数の数え方
・1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
・2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
・なお、遊漁船業は含みません。

1：自家漁業
2：自家漁業以外の自営業
3：共同経営の漁業の仕事
4：雇われて漁業の仕事
5：雇われて漁業以外の仕事